

GIKAI DAYORI
2018.8.1
No. **123**
第2回定例会
[6月]

議会だより

とうえい

CONTENTS

6月定例会 P2

一般質問ダイジェスト P3-5

追跡 あれどうなった? / 9月議会日程 / 編集後記 .. P6

私たち只今、会議中よ
~ 94才・88才のお元気ご長寿~



6月定例会

6月定例会を6月8日から6月19日まで開催しました。

補正金額 1億8千5百万円余 賛成多数(6:3)で可決

【補正予算の概略】

歳入

◆ 国支出金	△1千7百18万4千円
・町道下柿野尾呂線災害復旧費	1億2千9百65万4千円
・社会保障・税番号制度システム整備費	2百35万円
・新保育園建設	△3千2百49万9千円
◆ 県支出金	2千6百万円
・林道等工事費	2千6百万円
◆ 基金(預金)取崩し	6千8百63万5千円
◆ 町債(借入)	1億3百90万円
・新保育園建設	8千百万円
・林道工事	1千万円
・町道下柿野尾呂線災害復旧工事	1千2百80万円

歳出

・社会保障・税番号制度システム整備費	4百80万6千円
・新保育園建設費	5千6百24万6千円
・東栄病院へ繰出金	5千百60万8千円
・火災残渣抛出处分・土壌分析調査委託料	2百57万2千円
・資源ごみストックヤード修繕	1百90万4千円
・林業振興費(県補助分) 8百万円(町分1/10)	1百60万円
・林道事業費	2百80万円
・とうえい温泉機械器具購入費	1百91万円
・町道下柿野尾呂線災害復旧工事	2千6百13万5千円

※△は減

反対討論 (山本典式 議員)

新保育園建設は国の補助金が3千2百万円の減、起債(借金)は8千百万の追加、自主財源も7百74万円追加で、当初計画の4億円に追加で財政負担が多過ぎ、研究する必要があるため反対する。

賛成討論 (加藤彰男 議員)

補正予算の主要は新保育園建設と病院の繰り出し金であり、保育園は当初計画と比較して規模や設計内容が一部変更になったこと、建設コストが上昇したことでやむを得ないため賛成する。

山本典式 議員

町医療センター等施設整備における 町の方針について

問 3月末、町医療センター等施設整備について、結果報告書が提出された。町はこの報告書を尊重すると言うが、重要な幾つかの点が課題として残されている。この事からも即「町の方針」にはなり得ないと思う。町の方針を決めるにあたり、報告書の中の課題解決についてどの様に考えているのか伺いたい。

答 町長

一番の心配は、一般病床を無くして代替施設をどうするか。皆さんに説明できる様な形で9月には予算を計上したい。建設候補地の中央小学校の跡地は、万場の中の道路状況が悪いので、答申にある明石がよいと判断している。

答 病院事務長

無床診療所に伴い職員の配置転換は、入院の代替施設など決まった段階で効率のよい職員配置を考えたい。

問 「郡医療等に関する協議会」は、今後の医療体制の維持や住民の不安解消を目的としている。今後の計画について伺いたい。

答 住民福祉課長

今後3町村が足並みそろえて県へ派遣要望、招聘していきたい。

問 財政計画の説明は「歳出面の精査がもっと必要」との指摘があったがどうか。

答 総務課長

平成31年度から3年間の実施計画策定の中で見直したい。計画を確実に実施することで健全財政を維持していきたい。

問 「医療センター全体の経費が後世に負担にならない様に努める」とあるが具体的に伺いたい。

答 住民福祉課長

今後設計業者選定の際、適正規模の施設建設に努め、事業費の抑制を図りたい。

問 過去には、千代姫荘や民俗館は、老朽化により建て替えをする際、農水省の補助金をいただいた。知恵を絞って建てた施設である。この点どうか。

答 住民福祉課長

財源確保には、建設コストなど各面でアイデアを活かしていきたい。

問 町は「議会とも相談し町の方角が出た段階で予算提出をしたい」と明確な答弁をしている。今後においても間違いないか伺いたい。

答 住民福祉課長

これまでの経過と今後の協議も含め、早く方向を決め、予算をお願いしたい。

問

残す任期が1年を切る状況の中で大型事業、医療センター等建設関連の予算の提出は、避けるべきで好ましくないとと思うがどうか。

答 町長

15年以上も検討されてきた病院の建て替え問題、残す任期によって実施の有無や予算計上を判断すべきでないと思う。



巡回診療(古戸地区)

加藤彰男 議員

障がいのある人・家族が 安心して暮らせる 町づくり

問 4月から始まった「第5期障害福祉計画」では、障がいのある人・家族の声をしっかりと聞いて実現していくこと、さらに「障がい福祉」を町政全般に位置づけることが大切である。①「障がい福祉」は町の基本的かつ重要な政策である。町の認識は。②乳幼児期からの「個別の支援計画」などが必要である。町の取り組みは。③町「相談支援事業」の支援や関係機関との連携は。④「保健センター」「地域活動支援センター」など障がい福祉施設の今後は。⑤「すぎのきの里」「キラリンとーぶ」との連携は。

答 住民福祉課長

障がい福祉は指摘のとおり、重要な政策だと認識している。乳幼児期からの個別計画はできていない。出産から就学までは保健師・福祉部門・保育園・児童相談所などと連携している。相談支援事業は、障害者自立支援協議会に基幹相談支援センターも加わる支援体制を作った。医療センター・保健福祉センターは整備計画を進めていきたい。地域活動支援センターは今後も検討して進めたい。

問

今回、2018年「障害者計画」を新たに作成したが、国が指針を出した1995年からこの計画は作ってきたのか。

答

教育課長

平成27年の質問に「緊急度、重要度、財源等を考え、可能な限り教育環境の整備を検討したい」と答弁した。文科省は「学校環境

答

住民福祉課長

今年度から作ったが、それ以前は作成していない。

問

他の自治体は基本的に作っている。町政の中心に障がい福祉があるか問われている。財政に余

答

住民福祉課長

裕があればやるというのでは、教育や福祉は進まない。町政全体に関わってこの計画が必要ははずだ。

答

町長

個々の指摘はそのとおりで、今後取り組んでいきたい。提案の障がい施策・教育施策も意見を聞いて進めたい。100%は難しくても指摘を受け止め、今後の計画に繋げていきたい。障がいの方の意見を伺う場をしっかりと設けていきたい。エアコンも調査して必要に応じて財政状況を踏まえ、しっかりと計画を進めていきたい。

小中学校への「エアコン設置」について

問

以前「一般質問」で中学校のエアコン設置を求めたが、子どもたちの学習環境をよりよくするため必要である。文科省調査で全国の小中の普通教室へのエアコン設置率は50%である。どう検討しているか。

問

衛生基準「で望ましい教室の温度基準を「17℃以上28℃以下」とし「学校設置者は必要な措置を講ずるよう努められたい」と通知した。実態を把握し、必要があればエアコン設置を検討したい。

問

前回の答弁からもう何年間、子どもたちは暑い夏を過ごしてきたのか。教育を重視するこの町が、一番大事な授業の環境整備をやらずにきている。研究者の調査で、エ



暑い日は教室に扇風機が…(東栄中)

崩壊道路の一刻も早い改修を

問 町道下柿野尾呂線が豪雨被害で崩壊し、2か月が経った。住民は不都合を強いられている。早急な対策を取ってほしい。

答 事業課長

この崩壊は、災害復旧事業の申請を国に出し、認められた。6月の補正予算に計上した。工事の時期については河川の工事が含まれるので、出水期を避けたいと考えている。

問 今回の道路崩壊で、小野線を利用して下野道路も狭く待避所も無く危険である。災害時に地域が袋小路にならないため、町道や林道をバイパスとして整備する考えはあるか。

答 事業課長

バイパス機能の林道等はあるので整備をしているが、期間箇所は、大きな災害にならない内に手を打つようにしていきたい。

の又は、繋がらなかったものは何か。

答 振興課長

会員数は現在175名。「コミュニティカフェ」や「みんなが観光大使勉強会」など、出合いの場を設定し意見交換をしている。「ホテルのさんぽ道」もこの中から発展している。実績に繋がらなかったものは、売上げが伸び悩んだことである。

問 まちづくりの拠点が山の上に置かれていることに町民より問題の声がかかる。セーフティサポートセンターの利用についてはどうか。

答 振興課長

町民の新たな交流拠点として協会を「のき山学校」に持つて行った経過がある。NPO法人てほへの組織もあつて交流が盛んにおこなわれている。今後も利活用を図っていきたい。セーフティサポートセンターには観光用パンフレットを設置して頻繁にパンフレットの補充をしている。

問 昨年の利き鮎大会の優勝で販売所を設置したが、新しく展開していく事業について知りたい。

答 経済課長

三輪直売所、コンタク長篠、もつくる等での販売を進めている。都市の料亭と

の提携なども進めている。**問** 販売量に対して鮎釣り人口が対応できるか。

答 経済課長

若年層30才以下、女性釣り人への割引等考えている。

文化的所蔵品の展示はあれで良いのか

問 花祭り会館や民芸館の展示に変化が無い。展示の入れ替えをして寄贈していただいた方の好意に報いる展示をしていただきたい。

答 教育課長

展示品については専門性もあり、職員採用時には学芸員等、知識を持った者の採用を考えていく。

答 教育課長

指摘のとおり展示品の入れ替えが無い。職員だけでの整理は難しい。

観光まちづくりはどんなことをしているか

問 昨年より東栄町まちづくり協会が設

立されたが、会員は現在何人か。実績に繋がったも



質問

「空き家台帳」の整備状況
「集落カルテ」の進捗状況を伺う。
(平成28年9月議会)



答弁

「空き家台帳」はデータをまとめる作業をしている。
「集落カルテ」は作成方針、活用方法を検討している。



その後

現地調査及び写真を添付した空き家台帳を作成
調査件数は約300のうち現在約30件が登録。
「集落カルテ」は西園目地区でアンケート調査を実施し、住民と一緒に地域の課題を取り上げ解決に向けた話し合いを行い、緊急連絡先を作成した。
現在足込地区でアンケート調査を行ったのち、集落支援員制度を活用して、住民と共に課題に対する解決策を検討中。

平成30年9月定例会の開催日程(予定)



9月定例会は、**9月6日(木)から9月19日(水)**までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。(電話 0536-76-0505)

9月 6日(木)	本会議(議案上程・説明・質疑)
9月 7日(金)	本会議・一般質問
9月10日(月)	決算特別委員会
9月12日(水)	総務経済委員会
9月14日(金)	文教福祉委員会
9月19日(水)	本会議(委員会報告・討論・採決)

編集後記

6月18日午前8時前に大阪府北部で震度6弱の強い地震が発生し、小4女児を含む5名の方の尊い命が犠牲になりました。亡くなられた方、怪我をされた皆さんにご冥福と御見舞い申し上げます。
倒壊したブロック塀やタンクなどの下敷きになったのが原因です。ブロック塀が防災の盲点との指摘をされています。県内および近隣の自治体では、ブロック塀を撤去し、生け垣などにする場合、費用の一部を補助する制度がありますが、思う様に進んでいないのが現状だそうです。

私達の地域も東海東南海地震の発生が心配されています。今一度防災に対する意識をさらに高めることの必要性を強く思い行動しなくてはなりません。

- 編集委員会
- 委員長 山本 典式
 - 副委員長 森田 昭夫
 - 委員 伊藤 久代
 - 委員 村本 敏美
- 発行責任者 伊藤 芳孝



とうえい議会だよりは、エコマーク認定の再生紙と環境に優しい植物油インクを使用しています